



曲 豆 友

第176号

<https://bussei.gr.jp/>

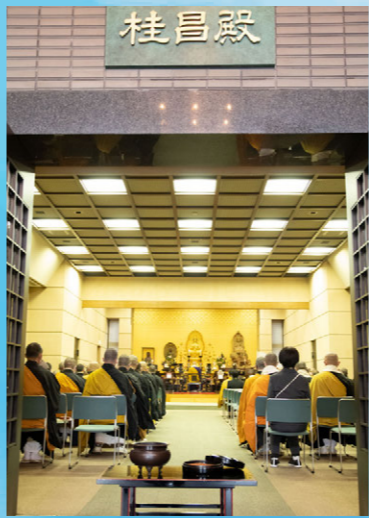
Buzanbussei
Buyu

題字 浅井侃雄 猯下



全真言宗青年連盟 東日本大震災十三回忌事業 福島を想い 福島から学ぶ

寺院を護り、伝えるために 参加して



東京五号仏教青年会
密蔵院

吉田 俊介



令和五年三月二日、真言宗豊山派の大本山であります護国寺に於きまして、全真言宗青年連盟による東日本大震災十三回忌事業が執り行われました。参加した僧侶はおよそ百名、私も列席したうちの一人です。

震災当時、私の暮らす地域も激しい揺れに襲われました。それは強烈な体験として未だ記憶されており、私たちの日常は簡単に形を変えられてしまうものであることを思い知らされることとなりました。あれから十二年が経ちました。被災地のなかでも特に大きな被害を受けた福島を、当地の僧侶であられます酒主秀寛師、百田尊道師、半谷哲也師、並びに仁和寺学芸員をお勤めであられます朝川美幸氏より講演という形で伺うことができました。

復興に際し大切なこと、それは「つながり」である。三師から共通して出てきた言葉です。地元地域の人々とのつながり、僧侶同士のつながり、お檀家さんをはじめとする僧侶以外の人たちとのつながり、

そして情報伝達技術が整備された現代においてはSNSを用いたつながり。こうしたネットワークは自分だけでなく他の人を救うことにつながるものであると感じられました。人と人とのつながりは一朝一夕に築けるものではありません。ですが一度しっかりとつながったならば容易く解けるものでもないはず。先の震災ではそれが顕著になったのではないのでしょうか。

昨今、人と人との関係が希薄になってきている、寺檀のつながりも以前より弱くなっていると耳にします。コロナ禍に見舞われたことで、それはさらに加速したように感じられます。それはそういう時代だから、と片付けるのは簡単です。ですが我々が震災と復興を通して学んだこと、至らなかつたこと、生かせることを無駄にしてはならないはず。僧侶にできることを考え行動を起こすことが、多くの人の心と命を救う一助になりえる。私が今回の事業から学び、感じたことでもあります。

そして新しく気付かされた「つながり」の形もありました。震災から十二年という時が過ぎた今だからこそ気付けたこと、それは次の世代へ震災の壮絶さ、未だ残る爪痕、復興に携わる人々の努力などを語り「つなげる」ということでもあります。いつ、どこでやってくるかわからない災害や有事に直面した時、私たちがつなげた知識や経験が今現在だけでなく、未来の誰かを救えるかもしれない、力になるかもしれない。そう考えられるようになった東日本大震災十三回忌事業でありました。

今回の事業開催にあたりご尽力いただいた実行委員の方々、貴重なお話をしてくれました。パネルの皆様に改めまして感謝を申し上げます。



観音院webサイト



観音院Instagram

令和五年四月二十二日（土）、月門英真監事の自坊群馬県桐生市観音院におきまして、「沙羅パークオープンセレモニー」が開催されました。当日はシンキングボウルの実演・仏教ボードゲームの販売・匂い袋作り等の催し物が開かれておりました。匂い袋作りの講師には、お香の調合資格を持つ島田希保副会長が登壇致しました。

「寺院の境内を敷居の高いものではなく、誰でも足を運び、心安らぐことができる公園のようにしたい」との思いから開設された沙羅パーク。寺院、ひいては僧侶と人々との関係の在り方が問われる現代社会において、この度の施設開設とイベントは、一つの良いモデルケースとなったのではないのでしょうか。

沙羅パークオープンセレモニーに参加して



弘法大師御生誕千二百五十年 記念慶讃法要

去る令和五年五月十五日（月）。真言宗豊山派総本山長谷寺にて、宗祖弘法大師の御生誕千二百五十年を記念する慶讃法要が、宗派を挙げた一大行事として執り行われました。

真言宗豊山派第三十四世管長 総本山長谷寺 第八十八世化主 浅井侃雄猊下が御導師を勤める中、全国各地から百名を超える諸大徳が職衆として出仕される、極めて盛大な法会となりました。我々豊山派仏教青年会も、お大師様への報恩謝徳の思いを胸に、お手伝いとして参加させて頂きましたことをご報告いたします。

何んぞと云ふに 奉修庭儀理趣三昧者為弘法大師御生誕千二百五十年慶讃也





心機一転 Reboot

真言宗豊山派仏教青年会 弘法大師御生誕1250年記念結集

第49回全国結集 総本山長谷寺大会

令和5年11月14日(火・大安)

ご挨拶

新型コロナウイルスのパンデミックにより、あらゆる活動に制限が設けられたこの3年間、豊山仏教も例外ではなく、結集も延期となっておりました。しかし、このお大師様の御生誕1250年正当年に、御本山を会場として、第49回全国結集を開催できる運びとなりましたこと、先ずもって感謝申し上げます。

いま仏教界は、下げ止まらない人口減少問題や、平成不況と言われる長期に渡った経済低迷、更にはコロナ禍によって加速した儀式の簡略化など、様々な要因で日本人の宗教離れが進み、未だかつて無い逆風の中にあります。しかしその様な時こそ、我々青年僧侶は、お大師様の教えを胸に刻み直し、若さと言う武器を力に、蒼生の福を増す為の新たな一歩を踏み出さなければなりません。

是非、本結集に多くの仏青会員諸師のご参加を賜り、そのヒントを共に探ることができればと存じます。

真言宗豊山派仏教青年会 会長
木村 修明

本年は宗祖弘法大師御生誕1250年の記念すべき年であり、このような素晴らしい機会に第49回全国結集を総本山長谷寺において開催させていただける事に大きな喜びを感じています。

心機一転とはあることを境目にして、ガラッと心の持ちようが変わることを表します。また、Rebootは再起動を表します。

コロナウイルスにより我々を取り巻く環境は一転しました。ようやくコロナ禍以前の生活様式に戻つつあるなか、今大会は開催方式を従来の対面方式にRebootし、これからの未来に我々青年僧がどう対応していくべきか考える結集にしたいと思います。

尚、今大会では新しい試みとして参加費の電子決済を導入しています。

初の試みゆえ、皆様には何かとご迷惑をおかけする事があるかと存じますが、実行委員会一同皆様の今後の活動の一助となるよう準備を進めて参りますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

第49回全国結集 総本山長谷寺大会 実行委員長
鈴木 真人

記念講演

お寺の魅力の伝え方 ～寺院×SNSの今～

両名が管理するお寺のInstagramアカウントは、フォロワー数それぞれ約4.7万人・約1.5万人を誇る人気アカウントです。コロナ禍の影響もあり、現代社会ではInstagramなどのオンラインツールの重要性が、一層増しています。この度の結集では、これからの寺院に必要とされる情報発信・表現方法やSNSの活用などについて、先駆者である両名をお迎えし講演とパネルディスカッションを行います。



長谷寺教務部主事
たきぐち こう き
瀧口 光記 師



長谷寺 Instagram
https://www.instagram.com/hase_dera/



西国第七番 岡寺 住職代務・副住職
かわまた かいゆう
川俣 海雄 師



岡寺 Instagram
<https://www.instagram.com/okadera3307/>



三重県伊賀市出身。大正大学卒業後、長谷寺で2年間の修行の後、長谷寺に奉職、広報を担当する。カメラを趣味にしていた経験を生かし、長谷寺の魅力を写真で伝えるInstagramを始める。カメラを始めたきっかけは、仏跡めぐりインドに行った際にコンパクトカメラを購入し、その写真を人に褒められたから。

奈良県桜井市出身。大正大学卒業後、1999年より西国第七番 岡寺に入寺。2003年頃に公式ホームページを立ち上げ、趣味であったカメラで「岡寺の今」を紹介するが、より多くの人に知っていただく方法はないかと試行錯誤を重ねている中でInstagramに興味を持ち、2015年にアカウント開設。現在はSNSを中心に広報活動を展開中。

懇親会ゲスト

みほとけ氏

2015年にアイドルとしてデビューし、2016年にはミス鎌倉を1年間務めた。2018年にアイドル卒業後、仏像・お寺の面白さを発信するべく、自身を本名の「みほ」と「ほとけ」を掛け合わせ「みほとけ」と名乗り、ピン芸人として再デビュー。自称「お寺・仏像研究家」として年間100以上のお寺を訪れており、拝観した仏像は1万体を超える。尊敬するものに近づきたいという気持ちから自身を愛する仏に扮して表現する「仏モノマネ」をSNSで公開するなど、幅広く活動中。



大会日程

- 09:30 受付開始
- 10:15 開会式
- 10:45 記念撮影
- 12:30 法要
- 13:45 講演会
- 15:30 閉会式
- 18:00 懇親会
- 20:00 終了

お問い合わせ

真言宗豊山派仏教青年会 弘法大師御生誕1250年記念結集

総本山長谷寺大会実行委員会

実行委員会事務局

〒164-0002 東京都中野区上高田5-18-3 光徳院内

TEL :080-3460-9219
(平日9:00~17:00)

MAIL:buzan.ketsuju49@gmail.com

今後の予定

写仏講座

第四回 令和五年九月八日(金)

第五回 令和五年十月十三日(金)

第六回 令和五年十一月十日(金)

第七回 令和五年十二月二日(金)

いずれも十三時開始 十五時終了予定

※天候の影響などにより、延期となる場合がございます。
必ずしもご了承ください。

写仏講座の感染症対策の方針に関するお知らせ

これまで受講者の皆さまには事前の抗原検査をお願い
させて頂いておりましたが、令和五年四月の講座より、抗
原検査は任意となっております。

基本的な感染対策は引き続き実施し、皆さまに安全に
ご参加頂けるよう、今後も感染拡大の防止に努めて参り
ます。

災害対策講習会

令和五年 十月三日(火)

※JUNO小布施(小布施総合公園)にて

全青連結集 第四十三回 普通寺大会

令和五年 十一月七日(火)・八日(水)

弘法大師ご生誕二百五十年記念

真言宗十八本山お砂ふみ普通寺

令和五年 十一月七日(火)・八日(水)

※右記の普通寺大会と同時開催になります。

豊山単独結集 第四十九回 長谷寺大会

令和五年 十一月十四日(火)

編集後記

昨年四月に発足した新執行部も、いよいよ二年
目を迎えました。あと一年間を切った任期を、精一
杯全うする所存です。

さて、前号や本誌の紙面でもご紹介した通り、豊
山派仏教青年会では、本年十一月十四日(火)に【豊
山単独結集 長谷寺大会】を開催いたします。

【心機一転―Reboot―】という副題の通
り、長きに渡るコロナ禍が落ち着きをみせた世の
中に相応しい結果となるよう、関係者一同準備を
進めております。

つきましては、皆様方のご参加とお力添えを頂
きたく存じます。何卒よろしくお願いいたします。

広報次長 木村修廣

豊山仏青Facebook

www.facebook.com/buzanbussei/

豊友お問い合わせ先

webussei@gmail.com

豊友 第176号

令和5年6月30日発行

発行人 木村修明

発行所 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目40番8号
真言宗豊山派宗務総合庁舎内 真言宗豊山派仏教青年会

デザイン・印刷 株式会社 ディー・エイ・ティ・コーポレーション

